

テーマ：子供の体験活動 対象：小学生・保護者・地域住民 主催：呉市阿賀まちづくりセンター

⑧-④ 阿賀まちふるさと「新春吟詠大型カルタ大会」

地域を学ぶ	○	地域でつながる	—	地域に還す	—
-------	---	---------	---	-------	---

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
平成29年・30年 12月～1月 (書道部活動時間) (同好会活動時間)	呉市立呉高等学校 (書道部) 呉市阿賀まちづくりセンター (水墨画同好会)	①大型百人一首の作成 ・文字札の作成(市立呉高校書道部) ・絵札(挿絵)の作成(水墨画同好会)
令和元年・2年 12月～2月 (総合的な学習の時間)	呉市立原小学校 (第3学年児童)	②大型地域カルタの作成 ・地域カルタの内容の検討 ・文字札の検討と作成 ・絵札の検討と作成
令和2年 2月23日(日) 10:00～12:00	呉市阿賀まちづくりセンター	③阿賀まちふるさと「新春吟詠カルタ大会」 ・「音戸の舟唄」披露 ・唱歌「ふるさと」斉唱 ・カルタ大会



対象	①市立呉高等学校(書道部)・水墨画同好会 ②原小学校(第3学年) ③阿賀・原小学校・阿賀中学校(全学年)・保護者・地域住民・阿賀文化連盟・吟詠講座(主催・参加者)
経費	H29(①) 報償費30,000円 需用費14,350円 役務費1,000円 (公民館等活性化モデル事業助成金) 食糧費950円 記念品費4,000円 R1(②～③) 報償費8,000円 需用費25,000円 役務費2,000円 (公民館等活性化モデル事業助成金) 食糧費1,000円 記念品費:16,000円
連携先	呉市立阿賀小学校, 呉市立原小学校, 呉市立呉高等学校, 阿賀文化連盟, 水墨画同好会, 吟詠講座(主催・参加者)

問合せ先	呉市阿賀まちづくりセンター 〒737-0003 呉市阿賀中央6-2-16 電話:0823-71-9077 ファクシミリ:0823-73-5039
------	--

2 講座設定の理由（学習の目的）

- 地域で活動する住民と子供たち、保護者が協働して事業を創ることで地域への愛着心を育み、まちづくりへの機運を高める。
- まちづくりセンターの事業を通して、地区内の小中学校や高等学校と連携・協働し、児童生徒が自主的に活動・活躍できる場を提供することで主体性を育む。

3 学習目標

- 地域の高等学校や活動団体と連携し、様々な事業で活用するための大型百人一首を作成することで、まちづくりセンターへの親近感を育む。
- 小学生が作成した地域の魅力をテーマにした地域カルタを活用した大会を行うことで、子供と地域住民が共に地域の魅力を再発見し合い、共有する。

4 事前に必要な知識や準備物

- 大判カルタ作成に必要な画用紙、マジック等
- 地域の活動団体や小中学校・高等学校と事業への協力体制について連絡・調整・連携

5 留意点

- 事業の目的や目標や意義について、地域の活動団体や学校等と共有しておく。
- 学校の教育活動と関連を持たせて、地域の活動団体と学校の双方が協働しながら事業を展開できるようにコーディネートする。

6 成果

- 地域カルタを通して、これからのまちづくりや地域づくりについて、子供たちと保護者、地域住民が一緒になって地域の魅力を共有し、地域への愛情を深めることができた。
- 地域の小学校と連携し、学校での学習内容と系統を持たせた地域の事業の具体について検討し、実践することができた。

7 課題

- 子供たちと地域住民が地域のことを再発見したり考えたりする場や時間を設定したり、カルタの内容について発表したり語り合ったりするといった工夫が必要である。
- 子供たちが主体となって展開していく地域カルタを活用した継続的な事業について、地域の学校や団体等と連携しながら、その内容を検討していく必要がある。

8 今後に向けて

- 地域内の2つの小学校のうち、今年度は原小学校児童が地域カルタを作成したため、来年度は阿賀小学校と連携し、新たな地域カルタの作成と関連事業を検討する。
- 子供たちが主役となる、複数の地域カルタ（原小版・阿賀小版）を活用した事業について、地域の活動団体と連携し検討する。
- 高齢者等を対象とした事業や講座への地域カルタの活用や貸出について、検討する。